

夢と笑顔あふれる「豊かで住みよい文化の町」

ABU Community Newspaper

広報
ABU

あぶ

帰っておいでよ

12

Dec 2021

ふるさとへ

12/11 ~ 1/3
イルミネーション点灯



発行 阿武町役場
編集 阿武町役場まちづくり推進課
TEL 08388-2-3111
URL <http://www.town.abu.lg.jp>
印刷 松陰堂有限会社

No. 606

令和3年12月20日

令和3年度 まちづくり懇談会 「選ばれる町」をめざして

阿武町のまちづくりについて、町長や各課長などが町民のみなさんに直接説明する懇談会が、町内3地区で開かれ、合計185人が出席しました。各会場では、町政に対するさまざまな質問や要望が寄せられました。各会場で行われたやりとりを、要約して掲載いたします。

奈古地区



問 各自治会から要望した町道整備や法面舗装（草刈作業労力負担軽減事業）などの進捗状況は、どのようになっていますか。（筒尾）

土木建築課長 挙げられたすべての要望箇所の工事を年度内に実施することは難しいですが、自治会ごとの高齢化率や労力負担などの実情に応じて、優先順位を付けながら事業を進めています。

町長 高齢化・人口減少が進み、民家が散在しているために負担が大きくなっている山間部の自治会からの要望が、どうしても最優先になっていきます。

もちろん現状では、全てが行き届いているとは考えていません。今後も、順番に要望にお応えしていくと

ともに、進捗状況についてみなさんにお知らせできるように取り組みます。

問 「空き家問題」について、いまにも崩れそうな危険な建物は、町が譲渡を受けて解体する対応を取ることはできないのですか。（木与）

土木建築課長 倒壊などの危険がある「特定空き家」については、随時、調査を進めており、建物の持ち主に連絡をとって話し合いを進めています。

町長 行政としては、一度譲渡を受け入れると、全て同じ対応を取らなくてはならなくなるため、慎重にならざるを得ません。

法的には町が強制代執行で建物を解体して、持ち主に費用を請求する制度もあります。実際には費用の回収は難しいようです。

あくまでも責任は持ち主にあり、「放置しても行政がやる」、「無視したほうが得」という状況は避けなければなりません。だからこそ、しっかりと建物の持ち主と話し合うなどの手順を踏んだ対応を取る必要があります。

福賀地区



問 自治会での草刈り作業などに対して支払われる「集落彩生交付金」について、現状では、参加人数・作業時間に応じて金額が決まる仕組みになっていますが、これでは、少ない人数でがんばって効率よく作業を行った場合に、結果としてもらえるお金が少なくなる、という問題点があります。作業の成果で判断されるように、制度を改めることはできませんか。（金社）

町長 数年前までは、参加世帯数を基準に金額を算出していましたが、一世帯から複数人が参加する場合もあり、参加人数を基準にするように制度を改めた経緯があります。

要望の主旨は十分に理解しました。いまずぐ回答は

できませんが、検討させていただきます。と思います。

問 「子育て支援」について、「ファミリリー・サポート・センター（ファミサポ）」という制度が、山口市や萩市などで導入されています。これは、急な仕事などで、親が時間通りに子どもを迎えに行けなくなった際などに、登録している近隣住民の方とマッチングして、有償で子守りを請け負ってもらえる仕組みです。

「なにかも無償」よりも、有償であっても、責任をもって子どもを預かってもらえる仕組みを整えるほうが、若い母親たちは安心できるのではないのでしょうか。（金社）

健康福祉課長 町としても数年前に「ファミサポ」を検討したことがありますが、阿武町は人口規模が小さいため、サポート住民の絶対数がネックとなって実現には至らず、それをカバーする形で、延長保育を導入したところですが。

町長 育児と仕事の両立のために、「ファミサポ」の



宇田郷地区



需要があることは、町としても理解しています。せっかくのご意見なので、これを機に再度、検討してみたいと思います。

「なにもかも無償が良いとは限らない」とのご指摘は、まさしくその通りで、学校給食費や、地域交通の運賃などにも同じことが言えます。

賛否両論があり、財源も限られているなか、行政と住民のみなさんが一緒に考えていく必要があると思っています。

福祉施設もあります。奈古には、J・Rの線路上を通る道がありますが、宇田郷にも必要だと思うので、町の考え方を答えください。（尾無畑）

副町長 残念ながら救急車などは高架下を通れないため、迂回路である「町道高線」を通らなければなりません。安全安心のため協議を重ねていますが、なかなか良い手立てがないというのが現状です。

問 「光ファイバ」について、町として、N・T・Tと連携し、デジタル技術をまちづくりに活かすためのビジョンはありますか。（宇田中央）

まちづくり推進課長 通信回線の向上により、便利さだけではなく、安全安心な暮らしの提供にもつながる施策を検討しています。

例えば、電化製品の電源オン・オフで高齢者の方の安全確認ができるような、「IoT（モノのインターネット）」という考え方もあり、住民のみなさんと一緒に活用方法を考えていきたいと思っています。

町長 例として、高齢者の方の家と役場を光ファイバで結んだ、双方向のテレビ電話が考えられます。自宅にいながら、保健師と顔を見ながら会話ができるようにになり、顔色や受け答えなどの様子を確認でき、見守りにつながります。高齢者にとっては、定期的な楽しみにもなるでしょう。

今は、各課が案を出し合って、施策について検討会議を開いている段階です。

問 宇田浦の「金子商店」の建物について、家主の方が亡くなりました。

「金子商店」は、江戸時代からの豪商で、毛利藩ともゆかりがあり、歴史・生活の両面において、まさしく宇田郷の文化の中心でした。その建物が失われることは、地域の文化が失われることにつながり、ひいては、住民の絆も失われてしまう恐れがあります。

いまからますます人口が減り、地区の郵便局や店もなくなるかもしれません。「金子商店」が失われる前に、住民のみなさんに

行動をしていただきたいと思いますが、町としては、どのようなお考えですか。（宇田浦）

町長 町としても、数年前から、何らかの形で建物を残すことができないか検討してきましたが、現実問題として、難しい状況です。

以前、あの建物で民宿をできないかという声もあり、検討してみましたが、「業」として成り立つかと言うと、困難です。

建物だけを残すにしても維持管理費がかかり、財源を求める必要があります。おっしゃることについて、気持ちには全く同じで、再度検討したいと思っています。

そしてもう一点、福賀の「ふくすけ便」の例を紹介しますが、これは「地域の課題を地域住民の力で解決しよう」という話し合いでスタートした、住民主導の新たな交通の取り組みです。

有志の方が立ち上がって、役場まで相談にいられて、まちづくり推進課と何度も協議や視察を重ねて実現に至りました。

「地域の課題をなんとかしよう」という志のある方が、少人数でも、集まって動いてほしいと思います。

本来は、町から提供・提案できれば良いのかもしれませんが、なかなかそういうわけにいきませんが、住民のみなさんから何かお話をもってきていただけたなら、町として全力で支援をしていきたいと思っています。

問 先の「町議会議員選挙」について、投票所ごとにそれぞれの候補者の得票数を公表していただくことはできませんか。（宇田中央）

町長 各投票所の「投票率」は公表していますが、票の内訳の公表はできません。そもそも、開票作業では、すべての投票箱の中身を一度、机上で混ぜてから集計しており、各投票所の票の内訳はわかりません。

また、投票所ごとに内訳を集計することは、各人の投票行動に制約を与えることになってしまうため、法的にも、行政として行うことはあり得ません。

阿武町議会 臨時会

議員改選後初の議会 正副議長・各委員長など決定

再任
末若 憲二 議長議長は末若憲二氏
すえわか けんじ

改選後、初の議会が11月22日に開かれ、議会構成や人事案件などのほか、議案1件・全協協議1件が審議・承認されました。

◆議長就任あいさつ
議員の多くからご支持をいただき、議長の大役を引き受けることとなりました。この度の議員選挙において、多くの新しい議員が当選し、平均年齢が若返ったことで、今後の議会運営のなかでも新しい考えや意見が出てくると思われまふ。それらを議会運営に、ぜひ活かしたいと思ひます。

初の就任
市原 旭 副議長副議長は市原旭氏
いちはら あきら各委員会 委員
(敬称略)

◆議会運営委員会(4人)

《委員長》池田倫拓
《副委員長》白松靖之
《委員》米津高明・松田穰

◆阿武町行政改革等特別委員会(7人)

《委員長》松田穰
《副委員長》上村萌那
《委員》米津高明・白松靖之
西村容子・池田倫拓
市原旭

議案審議

◆阿武町監査委員(議員)の
選任につき同意を求める
ことについて

・阿武町監査委員(議員1人)
松田穰

◆全員協議会 協議

◆阿武町の国民健康保険
事業の運営に関する
協議会委員の選任について

・公益代表(3人のうち1人)
西村容子

11/25

阿武町と「明治安田生命」

健康増進めざす連携協定



協定書を掲げる花田町長と徳留支社長

協定の締結式で花田憲彦町長は、「町民アンケートの結果、阿武町から転出する理由のひとつに『医療不安』があると分析しています。年齢を重ねても元気に、また、若いうちからも病氣予防をすることで、健康な地域づくりを進めていくことが重要だ」と話し、連携の意義を強調しました。

地域の健康づくりやがん対策、企業の健康増進などに関する分野について、町と保険業界大手の「明治安田生命保険相互会社」との間で、たがいに連携・協力を行う協定を結びました。

明治安田生命の徳留隆夫山口支社長は、「当社のがん保険サービスでは、予防や早期発見に重点をおいた団体向けプランを、新たにスタートすることになっています。このような取り組みから得たノウハウを活かして、地域の住民のみならず、地元企業で働く人たちの健康増進に貢献していきたいです」と話していました。

明治安田生命では、全社を上げて「健康経営」に取り組み、従業員の健康増進を図っているほか、地域貢献の一環である「地元の元氣応援プロジェクト」を提唱し、事業を通じて培った健康増進の知見を、研修会などの形で地域に提供する取り組みを行っています。



明治安田生命

農事組合法人「福の里」女性部長（現在は理事）や、阿武町生活改善実行グループ連絡協議会会長などを歴任した、上東郷の中野 逸子さん（74）が、今年の県選奨で、産業功労者として表彰を受けました。農業を主軸に、加工品の製造販売などを通して、地域の女性たちの社会参画による農村振興に尽力した功績が高く評価されています。

「地域のこれから」について
ロングインタビュー



これまでをふりかえって

島根県から福賀に嫁いで、54年。無我夢中で働いてきた54年だったな、と思います。兼業農家で、水稻があり、当時は繁殖牛もあり、小菊を作り……、今度は子育て、両親の介護。いろいろ勉強をさせてもらったり、役を務めさせてもらったり……。大変は大変だったけれど、私は私なりに、「二度とない人生だから」と思っ

てがんばってきたんです。そのことが良かったのか悪かったのかは、自分ではわかりませんが、大きな賞をいただくことができたということには、みなさんの支えやご指導があり、協力してくださった仲間があり、そのおかげさまだと思っています。

「これからの地域のあり方

高齢化が進む中、今後の活動のあり方は大きな課題ですが、また、みなさんと話し合いながら、一步一步考えていけたら良いのではないでしょうか。

やっぱり、地域を愛しているからこそ、「食文化」も愛していかないといけないと考えています。

昔の懐かしい料理を作り、みなさんに食べてもらおう。そういうことを、今度は、仲間のみなさんにもお伝えして、次世代に継承していきたいですね。

もちろん、「すぐに」ということにはならないと思っています。

一日一日、一回一回とたくさん積み重ねていくことで、自然にわかっていくこともあるのではないのでしょうか。

私一人が地域を守るんじゃない。みなさんと一緒に守るんです。私は、そのお手伝いができたら良いなと思っています。

ふゆのいの自慢

農事組合法人「福の里」は、社会福祉法人「E.G.F」さんとの「農福連携（農業と福祉の連携）」で、勇気と感動をいただいています。施設の利用者の方たちが、「おばさん、おはよう！」とか、「美味しいよ！」とか、声をかけてくれ、いろいろな場所でお会いしたときも、挨拶が、すごく丁寧なの。

草刈りの作業も、本当にきれいに刈ってくださるし、私たちも「なにか美味しいものを作ってあげよう！」、っていう気持ちになります。若い人が地域におられることで、声を聴くだけでも元気になれるんです。

どうせ私たちは、高齢で働けなくなりますが、そのときには、「おばさん、元気？」とか「がんばれ！」とか声を交わし合いながら、年齢を重ねてもできることをさせていただく。

そのような仲間づくりをしていいたら、ますます素晴らしい地域になっていくんじゃないでしょうか。

町長
コラム

打てば響く

キューピッドの復活

17世紀のネーデルラント（オランダ）の画家フェルメールの作品《窓辺で手紙を読む女》の背景に描かれ、フェルメールの死後、何者かの手で塗り潰されたと思われる部分の修復作業が完了し、キューピッドの姿が現れたとの報道が、少し前にありました。

実は私、平成30年の秋に、東京の「上野の森美術館」で、世界にわずか35点前後しか現存しないフェルメール作品のうち、なんと9点が展示された「フェルメール展」（日本の美術史上最多！他の画家の作品も含めると約50点の展示）が開催された際に、有名な《牛乳を注ぐ女》や《赤い帽子の娘》などを直に鑑賞することができました。

チケットは2700円。会場は長蛇の列。おまけに入場人数制限があり、1時間も並んでいた私の、ほんの数人手前でアウト。次の入場まで、さらに1時間。くじけず、そのまま並んで、やっと入場できました。

人は多かったのですが、幸い、会場内での時間制限はなかったのだ、思う存分、作品を堪能しました。

今度は来年1月下旬、上野の「東京都立美術館」で、修復されてキューピッドが現れた《窓辺で手紙を読む女》が展示されるということで、いまから楽しみにしています。



はなだ のりひこ
花田 憲彦 町長

11/14

阿武町総合防災訓練

消防団・社協・町職員の連携確認

消防団協力隊による
初期消火訓練

コロナの影響で昨年度は中止となっていた「阿武町総合防災訓練」が、関係機関のみの縮小版ではありましたが、福賀地区で開催されました。

訓練は、大雨のなか震度5強の地震が発生し、土砂災害や火災などの二次災害が発生した状況を想定して行われ、初期消火や避難所の開設、崩落箇所へのシート張りなどの手順を実践しました。

災害時には関係機関の連携が重要となり、防災無線やスマートフォンなどを使った情報の共有についても、訓練を通して確認しました。

来年度の「総合防災訓練」は、奈古地区を会場に行われる予定になっています。



◆年末年始は空気が乾燥し、暖房器具などを使う機会が増えるため、火災の恐れが高まります！
命を守る3つの習慣 ①寝タバコは絶対にやめる
②ストーブは燃えやすいものから離して使う
③ガスコンロなどを離れるときは必ず火を消す

11/15

「なごファーム」設立総会

水稻を中心に集落の農地維持めざす



阿武町で9番目の農事組合法人「なごファーム」が設立されました。町が進めている大里、野柳、下郷、上郷集落内のほ場整備事業を受けて、地域の担い手となる農業法人として設立。14.6haのほ場で水稻を中心に、小麦・ニンジン・ネギなどの作物を栽培する方針です。設立時の組合員数は3人で、大里の池田倫拓さんが代表理事に選任されました。

11/29

「なかよし柔道」礼儀と受け身

園児の安全な転び方教室

柔道の「受け身」を身に付けることで、安全な転び方を身に付ける教室が、今年も阿武町柔道場で開かれ、みどり保育園の年長さん15人と保護者が参加しました。子どもたちは、全日本柔道連盟公認指導員の近藤優子さんから、畳の上で、体の使い方を学びました。

特に幼児期は、まだ体の動かし方に慣れておらず、転んでしまうことが多いため、「正しい転び方」を知ることが、けがの予防につながります。また、柔道ならではの「礼儀」も教わり、実り多い教室となりました。

楽しく学ぶ
礼儀と受け身

12/1

地域づくり研究集会

ふるさとの「昔」と「今」

町内3地区で活躍する女性団体の集い「地域づくり研究集会」が、町民センター多目的ホールで開かれました。

集会では「阿武町女性団体連絡協議会(女団連)」が活動の成果を報告。女性ならではの暮らしの目線で町の魅力を発信していかうと作成した地図「おいでよ、阿武町」をもとに、昨年度に引き続き、地域の歴史や魅力を掘り下げることをめざして、奈古地区の「昔」と「今」に焦点を当てて活動してきました。

「昔」については、戦国期にこの地に勧請された、歴史ある「菅原神社」や、祭りで五穀豊穡や無病息災を感謝して奉納される「神子の舞」、明治以降に造り酒屋として栄えた「河野酒造」について学んできたことを発表しました。

「今」の部分では、ここ数年、新しくオープンしたり、先代から事業を引き継いだりした奈古地区の4店舗について、オーナーの想いなどを含めて、お店の情報を発信しました。

また、「阿武町消費者団体連絡協議会(消団連)」の啓発活動では、萩警察署の署員が「うそ電話詐欺にご注意を」をテーマに講演を行い、防犯意識を高める良い機会となりました。

学び伝える
女性の力

関連動画：「神子の舞」について語る小田利春さん(神子の舞保存会)



厚生労働省山口労働局委託
「高齢者活躍人材確保育成事業」

剪定講習 受講者募集



- 日 時：1月26日(水) 13:00～16:00 ※シルバー人材センターのご案内もあります
1月27日(木) 10:00～16:00 (2日間)
- 場 所：萩セミナーハウス・萩浄化センター(萩市堀内)
- 対 象：○シルバー人材センターで就業を希望する阿武町・萩市在住の60歳以上の方
○職種転換を希望、または1年間就業していないシルバー会員の方
- 内 容：剪定の基礎を講義と実技で学びます
- 受講料：無料
- 募集人員：10人 ※受講決定は締切後、郵送にて通知します
- 申込期限：1月17日(月)
- その他：希望者は後日、就業体験も行います

■問い合わせ・申し込み先

(公社) 山口県シルバー人材センター連合会

☎ 083-921-6070

〒753-0079 山口市糸米2-13-35

■受付時間：8:30～17:15 ※土・日・祝を除く

至誠館大学での「大学入学共通テスト」について

1月15日(土)、16日(日)に、大学入学共通テストを実施します。

至誠館大学試験場への自動車などでの送迎は全面禁止です。

JR(臨時便含む)および、臨時路線バスをご利用ください。

※時刻については、至誠館大学ウェブサイトをご覧ください。

■問：至誠館大学 学務課

☎ 0838-24-4012

ウェブサイトはこちら➡



イージス・アショアの経緯に係る住民説明会

問：総務課 ☎ 2-3110

中国四国防衛局より、萩市むつみ演習場に計画されていたイージス・アショア配備計画の撤回に関する経緯などについての説明会が次の通り行われる旨、連絡がありましたのでお知らせいたします。

【のうそんセンター】 ◎対象：福賀地区住民ほか

【町民センター】 ◎対象：奈古・宇田郷地区住民ほか

☞ 12月24日(金) 19:00～

☞ 12月25日(土) 19:00～

令和4年度 阿武町児童クラブ 利用児童を募集します

来年度4月から阿武町児童クラブを利用する児童を次のとおり募集します。

【利用できる児童】

小学校1年生～6年生の町内の小学校に就学している児童で、
同居の家族が就労などで児童を日中保育できる人がいない家庭。

【募集児童数】

阿武児童クラブ 30人 福賀児童クラブ 8人

【募集期間】

令和4年1月21日(金)まで

【利用料】

1ヶ月あたり 4,000円

【申込手続方法】

健康福祉課または各支所備え付けの「阿武町児童クラブ入会申込書」に必要事項を記入し、
就労証明書を添えて申請をお願いします。

来年度みどり保育園に入園申込みをされた保護者は就労証明を省略できます。

※みどり保育園では申請書類の備え付けのみ行っています。

※期間後も随時受付は可能ですが
利用開始日の1ヶ月前までには
申込み手続きをお願いします。



問い合わせ：健康福祉課 福祉保険係 ☎ 2-3115

「阿武町版DMO」 ついに動き出す

※「DMO」：《観光地経営の視点》で地域開発に取り組む、「観光地域づくり法人」。

12/4 設立総会

阿武町観光ナビ協議会 (通称：あぶナビ) 設立



町内の体験観光事業者や 第一次産業従事者など 17 事業者で構成

来年3月12日に控えた「ABUキャンプフィールド」のオープンにより、阿武町では、さらなる観光客の増加や観光事業の多様化が期待されています。

この度、町内の観光事業の統括を担う民間主導の観光組織として、新たに「阿武町観光ナビ協議会」(通称：あぶナビ)が設立されました。

「あぶナビ」では、これからの観光推進や商品開発・宣伝・販売などの事業を計画し、オブザーバーである役場・商工会・農協・漁協・森林組合などから支援を受けながら、「自ら稼ぐこと」を理念に、地域振興や観光推進に取り組んでいくことにしています。

また、「ABU キャンプフィールド」と連動した、阿武町観光の魅力となり得る「体験プログラム」の開発も進めていく方針で、

キャンプ場のみに留まらない町内全体への「人の流れ」を促すことにより、経済循環や交流人口の創出など、さまざまな波及効果を高めていくことをめざしています。

今後は、町が「ABU キャンプフィールド」の運営や人材育成を委託している「(株)スノーピーク地方創生コンサルティング」のサポートも受けつつ、モニタリングを行いながら体験開発を実施し、視察や勉強会を重ね、イベント実施や独自商品の開発などに取り組んでいく計画です。



体験プログラムのイメージ

左：自転車周遊

右：水揚げ見学



「野遊びと 地方創生」

講師

ごとう けんいち
後藤 健市氏

「(株)スノーピーク地方創生
コンサルティング」会長

昭和34年、北海道・帯広生まれ。大学留学中(アメリカ)にセールスプロモーションを手掛けるベンチャー会社にチーフディレクターとして参加し、ソニー・松下など、家電メーカーの草創期のパソコン・ワープロの販売促進を担当。61年に東京を離れて地元・帯広に戻り、経験を活かし、福祉、教育、飲食分野など幅広いフィールドで、まちづくりの活動を展開。「野遊び」の視点から、地方創生の推進に取り組んでいる。

まちの縁側事業 講演会

設立総会の同日、町民センターでは「まちの縁側事業講演会」が開催され、町内外から約60人の参加がありました。

「(株)スノーピーク地方創生コンサルティング」代表取締役 会長・後藤 健市氏を講師に迎え、キャンプやアウトドアをキーワードに、自身が取り組んできた地域づくりについて、「野遊びと地方創生」と題した講演をしていただきました。

後藤氏は、昨今の「キャンプブーム」や「田園回帰」の潮流を踏まえ、さまざまな「しがらみ(ストレス)」が多い現代社会だからこそ、あえて、自然豊かな「野」(森・里・海)に身を置いて「遊ぶ」ことが、《自然と人》《人と人》の関係の「再生」につながり、新たな価値を生み出していると分析しています。

地方創生に「野遊び」の発想を取り入れることで、都市部には真似できない、地方の豊かな自然を活用した地域づくりにつながると強調。さらには、日本国内に留まらないグローバルな視点と視野をもって地域が主体的に取り組むことが大切であり、地域に磨きをかけて価値をより高めることで、その場所に「わざわざ感」をもって人が集まり、地域経済の成長に結びつくのだと話していました。

問い合わせ：まちづくり推進課 ☎08388-2-3111

ABU CAMPFIELD

PRESS

*ABU キャンプフィールド プレス Vol.11

このコーナーでは、ABU キャンプフィールドが完成するまでの動きを、地域おこし協力隊・集落支援員の目線で、ご紹介させていただきます！



遠岳キャンプ場と体験プログラムPR



遠 岳キャンプ場は、昨年までは夏休み期間（7/10～8/31）のみの営業でしたが、今年4月に敷地を整備し、日本海の絶景が楽しめるキャンプ場としてリニューアルオープンし、通年営業になりました。

※来年の1～4月下旬までは冬季休業です。

利用料は、昨年までの1人1日100円から、1サイト3,300円～5,500円となり、コロナ拡大防止措置による利用制限もありましたが、今年の利用者数は11月末時点で**212組 708人**。売上は150万円近く、平均稼働率は23.0%となりました。（コロナ禍・2020年のオートキャンプ場の**全国平均稼働率16.3%**を大きく上回っています。）

また、キャンプ場の宿泊客に、道の駅阿武町の「鹿島の湯」温泉割引券を配布したところ、温泉利用者は429人。**道の駅の利用促進**にもつながり、**直売所での食材購入などの経済効果**も生まれたのではないかと思います。

宿 泊したお客様たちからは、「阿武町の海も山も食材も最高」「予約が取れなくなったら嫌なので、人には教えたくない」といった、嬉しい感想をいただきました。**ソロキャンプから家族キャンプまで、幅広い年齢のお客様**に阿武町の良さを知っていただくことができる**滞在拠点**になりました。

来年3月12日にオープンする「ABU キャンプフィールド」では、体験プログラムなどを通じて、もっと阿武町を楽しんでもらえるようになると思います。「遠岳キャンプ場」とともに、**阿武町の森・里・海の魅力を、多くの方に伝えていくという役割**が期待されています。

交 流人口の拡大をめざし、「手ぶらで気軽に」をキーワードに、自然を活かしたアウトドアスポーツを推進する目的で企画された、県主催のイベント「**スポーツフィールドやまぐちフェスティバル**」が、10/23・24に、山口市の「山口きらら博記念公園」で開催され、われわれキャンプ場スタッフも、「ABU キャンプフィールド」のPRのため、**体験プログラムのブースを出展**してきました。

この2日間、焚き火を使った「**焼きマシュマロ体験**」や、阿武町が全国に誇る「**無角和牛肉の焼き方講座**」を開催しました。

会場には、「**遠岳キャンプ場**」に宿泊されたことのあるお客様も来てくださり、「景色が良し、また行きたいと思っているんだよ」と声をかけていただき、とても嬉しく思いました。

「遠岳キャンプ場」限定予約受付や、「無角和種堪能ツアー」の参加募集も行ったところ、**2日間のイベント期間中にキャンプ場利用予約が10件**、うち3件が無角ツアーとあわせての予約でした。

体験プログラムやなにかをやってみようかと考えている人へ

地域おこし協力隊・体験プログラム担当の田代 ゆか が相談にのります。プラン案の立て方から体験プログラムの予約販売までの手順の説明や、値段設定の計算方法、キャンプ場との連携など、アイデアの段階でもいいので、気軽にご連絡ください！



☞ ABU キャンプフィールドの目玉のひとつ、「手ぶらでキャンプ用品」を展示。カリスマ的な人気を誇る国産アウトドア用品メーカー「スノーピーク」製の用品をレンタルすることができるようになります。

焚き火でマシュマロ体験 ☞ 阿武町産材の薪を使って、本格的な焚き火を楽しみながら、キャンプの定番・焼きマシュマロを楽しめる企画です。親子連れなど、幅広い年齢層のお客様に人気を博しました。



地域おこし協力隊
田代 ゆか（宇生賀中央）

今月の記者

集落支援員・
ABU キャンプフィールド店長
矢田 英和（美咲）



10/30 (土)

阿武中学校 文化祭

阿武町の未来を創る ～主役は我々だ！～



3年生 合奏「星影のエール」



英語暗唱 3年・藤井 彩花さん

萩阿武英語暗唱・弁論大会に出場。

「タイタニック号」の物語を約2分半

にわたり、感情豊かに暗唱しました。



イラスト…伊藤泉美さん

福賀神楽舞から学ぶ《1年生》～知る～



「神楽」について、保存会のみなさんに教わりながら学習してきました。ステージでは代表の生徒たちが「四神」の舞を披露。太鼓などにも生徒が挑戦。さらに有志のメンバーは、のうそんセンターで夜間行われる保存会の練習にも参加するなど特訓を重ねてきました。実際に舞ってみることで、所作の一つひとつに込められた敬意や感謝など、伝統芸能ならではの奥深い精神性についても教わる機会になりました。

阿武町 魅力再発見プロジェクト《2年生》～掘り下げる～



《観光》《産業》《自然》《歴史》《環境》の5班に分かれ、「ふるさと」の良さを改めて知る目的で学習。《観光》班は、道の駅のお客さんに聞き取りを行い、「阿武町の名所」の知名度を、町内・外・県外ごとに分類。「ABUキャンプフィールド」については、工事中の現地を訪れて担当者から話を聞き、「第一次産業の発信拠点」や「町内外の交流拠点」としての意義など、表層に留まらない事業の目的なども掘り下げて学んでいました。

2学期を中心に、これまで取り組んだ「ふるさと学習」の集大成となる発表が行われました。今年度から学年別の発表（昨年度まで「縦割り」）となり、1年生は《知る》、2年生は《掘り下げる》、3年生は《発信する》といったテーマが明確に打ち出され、学習の深まりを感じさせる文化祭でした。

学年別テーマを明確に新しい「ふるさと学習」



阿武町 いいところCM《3年生》～発信する～



昨年度の「子ども議会」で、町の未来について学んだ3年生。4つの班ごとにテーマを決めて、「道の駅」や「キウイ」、「海の幸」、「山の幸」といった阿武町の魅力 発信をめざし、30秒CMを制作。「何を撮るか」、「どう伝えるか」を想像しながら、絵コンテ、撮影、編集まで一貫して挑戦。町長や、地元の漁師さんも出演し、生徒自らの目線で、等身大のCMが完成。「表現すること」の楽しさや難しさを経験する機会となりました。



ぜひ道の駅阿武町へ

萩高校奈古分校 学習成果発表会



生徒たちが栽培した野菜や花など販売。「オススメは？」と尋ねられると、選び方などを丁寧に教え、荷物を車まで運んであげる姿もありました。



“地域密着” まごころの おもてなし



奈古分校の名物「燻製鶏」「ベーコン」「ジャム」「みそ」などの加工品。今年も長蛇の列ができる大盛況ぶり。



かわいい作品が多くてビックリ！
手作りなのにしっかりした作りなので
自分も使ってみたいと思いました。



「ほしい！」と思った作品がいっぱい
ありました。細かい作業は苦手だけど
教わりながら作ってみたいです！

手作り作品の魅力 世代を超えて大人気

今年の「奈古文化展」は初の試み、奈古分校での同時開催！同じ体育館に、生徒の作品と地域のみなさんの作品が並びました。手芸やフラワーアレンジメントを学ぶ生徒たちは、大先輩の作品からたくさん刺激を受けたようです。

奈古分校

こんなところも
地域密着！

10/27 奈古寿齢大学 in 奈古分校
フラワーアレンジメント講座



11/2 毎年恒例！全校生徒で町内&清ヶ浜清掃



有志



「ABU地域盛り上げ隊」

町内のイベントなどでダンスを披露する有志のグループ。地域の人たちに教わり、楽曲づくりやダンス練習に取り組んでいます！オリジナルのダンス&ソングを発表！

11/20 (土)

阿武小学校 スタディ・フェスタ 2021

～響かせよう すてきな音色 届けよう阿武っ子の元気 キラキラ笑顔のスタディ・フェスタ～

町民センター文化ホールで行われた「スタディ・フェスタ」。去年はコロナの影響で中止となったため、2年ぶりの開催です。「ふるさと学習」の成果がお披露目され、子どもたちが「町の中」に出て行き、積極的にいろいろな学びをしている姿勢がよく伝わる発表でした。保護者や地域の学校ボランティアのみなさんが応援に訪れ、子どもたちの成長ぶりに目を見張っていました。

1年生



こんなことが
できるようになったよ！

「ぼくたちは4月に入学したんだ！」「おおきなかぶ」の物語に、算数やなわとびなど、学校で学んだことを織り交ぜた劇を披露。元気パワーがいっぱいの発表でした。

2年生



ハートフル♡音読

物語「お手紙」を、登場人物になりきって音読。長い文章の暗唱だけでなく、喜怒哀楽も上手に表現。最後は会場にいる家族に、実際に「お手紙」を手渡すサプライズも！

3年生



すき・すき・大すき
阿武町ニュース

テレビ番組になぞらえて、「阿武町の自慢」を発表。役場やサンマート、ナベルなど、学校周辺の人たちにインタビューして教わったことを寸劇で楽しく紹介しました。

4年生



未来の
阿武町
守り隊

「未来の阿武町を安心して暮らせるように…」社会科で学んだ水道水のこと、消防団のことなどを発表。防災の心得を会場の人に呼びかける場面もありました。

5年生



気づいて
海がよごれている

清ヶ浜清掃をきっかけに「マイクロプラスチック」などの海洋ごみ問題を調査。阿武町だけでなく、世界の情勢なども調べ、日々の行動からできる「SDGs」を考えました。

6年生



ドリーム&ドリーム

教わった英語を使って阿武町の魅力を発表。また、将来の夢の実現に向けて、バスの乗務員、薬剤師など、身近な人にインタビューし、「職業」への理解を深めました。



いつも以上に地域みなさんとお話できて嬉しかったです。これから寒くなるので、お体に気を付けてください。ありがとうございました！



11/20 (土)

福賀小学校 学習発表会

伝えよう ぼくたち 私たちが学んだこと
伝えよう ぼくたち 私たちの感謝の気持ち

劇「はらぺこアオムシのおいしいたび」(1年生)

初の学習発表会！1年生2人は、絵本「はらぺこアオムシ」の劇に挑戦。ムシャムシャムシャと味わったのは、福賀の美味しい食べ物。すいかにオクラにピーマン。いっぱい食べて大きくなったら、ちょうちょに変身して歌って踊りました。かわいらしいパフォーマンスに、会場みなさんは目を細めて、応援していました。



「無角和牛のヒミツツアー」(3・4年生)

福賀小に無角和牛がやってきた！中学年の2人はかわいい牛に扮して(耳標もつけています)、牧場に訪れたり、地域の人に教わったりして学んだことを発表。「牛には上の前歯がない」と知り、ビックリしたそうです。発表の最後は「角がないのはおいしいシルシ！」の言葉で決めポーズ。また、手作りパンフレットも会場みなさんに配りました。

英語劇「MOMOTARO」(5・6年生)

高学年らしい全編英語の劇発表！ALTのソフィア先生に教わった英語を活かし、みんなが知っている昔話「桃太郎」をハリウッド風に大胆アレンジ。個性豊かなキャラクターをのびのびと演技切りました。(先生たちの“怪演”もお見事！)カーテンコールではゴスペルの曲「Oh Happy Day」を合唱。手拍子を交えて歌い、喝采を浴びました。



地域の人とふれあおう(全校児童)

福賀小の発表会には、家族だけでなく、いらお苑のみなさんなど、地域の人が大勢あつまりました。子どもたちは、「福賀っ子クイズ」や「おしやべりタイム(お題に沿って会話をします)」などを通して交流しました。また、学校の田んぼで育て、収穫した「もち米」もプレゼントされ、アットホームな福賀らしさに包まれた一日となりました。

光と芸術の祭典

1月3日まで

イルミネーションフェスティバル 2021 in 阿武町



①ミッキー・ミニーとキジハタくん



②「寅」と「ピカチュウ」



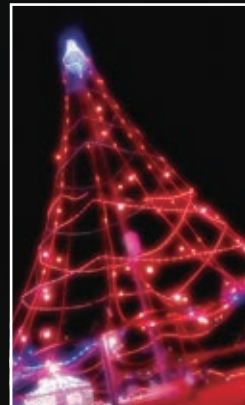
③Xmas & team works



④「マリトッツォ」
って言いたい…



⑤愛のベンチ



⑥クリスマスツリー



⑦プールにおいでよ！
ペットボトル
イルミネーション



⑧干支「寅」



⑨ヘンゼルとグレーテル
お菓子の家へようこそ！



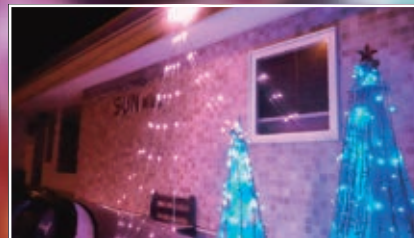
⑩HAYABUSA-2



⑪祝 名古屋郵便局開業 150 年
記念の ゆうパックダンボー



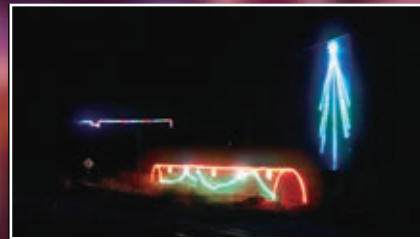
⑫We Love ABU !



⑬ツリー



⑭ちっちゃなツリーたち



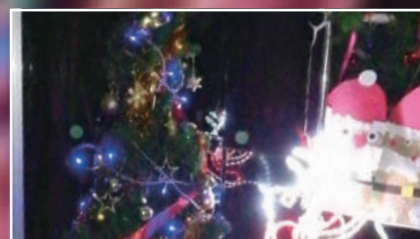
⑮未来ハワープ「木と第3トンネル」



⑯福賀小学校



⑰教育委員会



⑱福賀支所



⑲宇田郷支所

【開催期間】

令和 4 年 1 月 3 日 まで
(日没～ 22:00)

12 月 24 日・31 日は
24:00 まで点灯！



華麗なる躍動感！「宇田さくら会」の銭太鼓



至誠館大学「MCL 音楽奏で隊」のハンドベル演奏



夢いっぱい！空に浮かんた「シャボン玉お兄さん」のパフォーマンス

今年もキラリ、風物詩
阿武町冬の恒例行事「イルミネーションフェスティバル」。12月11日に「点灯式」が行われ、夢いっぱいのパフォーマンスで、年の瀬の「道の駅」を暖かく盛り上げました。今年は「美萩工芸」と「萩高校奈古分校」のイルミネーションが初参加。小さな町の手作りの灯が、輝いています。



夜空を彩った 134 発の「冬の花火」。コロナ禍に負けない阿武町の底力が、色鮮やかに輝きました

なご

11/16 さつき婦人学級 湯本・大寧寺の旅

2年越しの移動教室を開催。今回は長門市の「大寧寺」を訪れました。ちょうど紅葉が見ごろで、ほかの観光客も多いなか、住職から直々に歴史を説明していただいたほか、普段は入れない本堂の奥も案内していただきました。長門と言えば「焼き鳥」。昼食は「さくら食堂」で舌鼓。午後からは「金子みすゞ記念館」や「センザキツチン」を訪れ、長門の魅力を満喫。帰りは「楽しかった!」と、みなさん満足でした。



紅葉の錦♪

11/30 手の平よりも大きな梨狩りin小川

～奈古寿齢大学～

奈古寿齢大学の移動教室では、萩市小川にある「吉田農園」に、梨狩りをしに行きました。雨の予報でしたが、当日の寒さは厳しくなく、天気もなんとか持ちこたえました。梨園では多様な品種が栽培されており、この時期に収穫できる「新雪」は、手の平よりもビッグサイズでした。収穫後、「新雪」と「ラ・フランス」を試食しました。なかには、初めて洋梨を味わった方もおられました。昼食は「龍の里 やどみ」。このお店は学校を改装しており、学校給食のように、そば定食を楽しみました。



収穫の喜び

ふくが

11/20 地域の魅力再発見 秘境の滝巡り

福賀昭和会では、阿武町の秘境の一つ「男滝」「女滝」を訪ねました。今回は、四つ葉サークルのみなさまもご一緒し、秋晴れの下、和気あいあいと入山。ナタやチェーンソーで枯れ草や倒木を処理しながら、険しい山道を進むと、最初にどしりと構えた女滝、次に、勢いよく流水を叩きつける男滝に到着し、自然の雄大さに感動します。秘境好きの方は、一度は訪れてみたい場所だと思います。一人では遭難や怪我などの恐れがあり、危険です。興味のある方は、来年ご一緒しましょう。



雄大な自然の宝物

12/5・6 婦人学級 体験プログラム



足湯で身も心も癒されました

福賀婦人会では、宇生賀・伊豆で活躍中の地域おこし協力隊・田代ゆかさんの体験場「とっかかり@山平」(宇生賀盆地が一望でき、薪ストーブのある素敵な場所です)で、うもれ木の郷で収穫されたトウキの葉を使った足湯体験と、アイヌ文様の刺繍コースター作りに挑戦しました。アイヌ文様は地域によって違いがあるなど、田代さんの解説、指導で学級生の刺繍針は進み、最後には、宇生賀の方も手伝いに来られて、準備された足湯でリラックスできました。

うたごう

11/21 長門峡ふれあいウォーキング

朝夕の冷え込みに深まる秋を感じながら、宇田ふれあいクラブ主催の「ふれあいウォーキング」を開催したところ、朝8時から総勢33人と多くの方が参加されました。「紅葉の秋、長門峡ふれあいウォーキング」と銘打って、萩市川上の長門峡入り口である竜宮淵から出発。溪谷の遊歩道を散策しながら景色を楽しみ、紅葉橋や鈴ヶ茶屋を通って、出口にある山口市阿東の「道の駅長門峡」をめざしました。お昼は徳佐でりんご狩り。最後は船方牧場を見学しました。鮮やかな紅葉を楽しめた長門峡の旅は、天気も薄曇りの良い感じのウォーキング日和で、達成感のある一日でした。



絶好の行楽日和♪

12/1 図書ルームオープン!

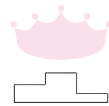
整備工事が完了した図書ルームがオープンし、利用を開始しました。支所や公民館の業務を継続しながらの工事とあって慎重な施工を心掛けられ、4月の着工から半年以上かけて完成しました。

図書ルーム内は改修前の約4倍の広さで、収蔵可能書籍数は倍の約4000冊。

ゆったりと、本を探したり、読書を楽しめたりする余裕のある空間となっていますので、ぜひ、ご利用ください。



ご利用をお待ちしています



表彰席

（敬称略）

婦人学級

スポーツの集い

グラウンドゴルフ大会

11/3 宇田ふれあいグラウンド

文化の日の朝9時半から
宇田郷婦人会による大会を
開催しました。澄み渡る
青空の下、暖かな日を浴び
つつ、日ごろの忙しさから
身を置いて、スポーツを
楽しみました。



婦人学級 G G
入賞者のみなさん



宇田郷 G G を楽しむ会
入賞者のみなさん

- ▼優勝 岩本房枝（宇田中央）
- ▼準優勝 近藤利津子（宇田中央）
- ▼3位 齋藤豊子（惣郷）
- ▼とび賞 伊藤佐登子（宇田中央）
- ▼とび賞 水津和子（宇田浦）

第153回「木の葉舞う

寒空の下 元気に」

グラウンドゴルフ大会

（宇田郷グラウンドゴルフを楽しむ会）

11/18 宇田ふれあいグラウンド

昼夜の寒暖差と、早い日没。
晩秋を感じる大会でした。

◎男性の部

- ▼優勝 虎竹彰（宇田中央）
- ▼準優勝 金崎洋（尾無畑）
- ▼3位 白石修照（宇田中央）

◎女性の部

- ▼優勝 角石勝枝（宇田浦）
- ▼準優勝 村木真砂栄（宇田浦）
- ▼3位 伊藤佐登子（宇田中央）

◎チーム賞

- ▼優勝 白石修照（宇田中央）
- ▼準優勝 伊藤敬久（宇田中央）
- ▼3位 堀幸子（宇田浦）
- ▼とび賞 岩本房枝（宇田中央）

阿武中3年 バレー部

清水 菜帆さん 全国大会へ



小学2年生の頃からバレーボールを続けている清水 菜帆さん（市）が、《山口県選抜選手》として「全国都道府県対抗 中学バレーボール大会（ジュニアオリンピックカップ）」に出場します。県内12人（女子）という狭き門をくぐり、北浦唯一の代表選手として、全国の舞台に挑みます。

“日本一にむけて一直線です。自分には、声を出してチームを盛り上げる力があると思うので、点が決まったとき仲間に声をかけたり、ガッツポーズをしたりして、相手にプレッシャーを与えながら、チームの勝利に貢献していきます！”

大会日程：12/25～28の4日間
会場：大阪府 舞洲アリーナほか



応援よろしく
お願いします！

「やまぐち健幸チャレンジ月間」阿武町に表彰状

「市町部門（登録人数500人未満の部）」第1位

「やまぐち健幸アプリ」のランキング機能を活用して今年10月に実施された健幸チャレンジ月間で、期間中の町民のみなさんの「平均歩数」が県内各市町のなかで最も多く、県から表彰状が贈られました。

（アプリ登録者数166人、平均歩数97,249歩）

町民のみなさん、これからも日々の運動習慣を身に着けて、
健康づくりに取り組みましょう！ 問：健康福祉課 ☎2-3113



子育て世帯 臨時特別給付金

18歳以下に「現金10万円」年内支給開始へ

12月13日、国の予算委員会において、岸田 文雄 首相による「18歳以下の子どもへの計10万円の給付について『年内の現金一括給付を容認する』」との発言がありました。

これを受けて阿武町では、クリスマス前から、18歳以下への現金10万円を一括して支給します。

【対象者】310人（168世帯） 【予算総額】3,810万円 【支給開始予定日】令和3年12月24日（金）

※高校生および一部の公務員世帯の方は口座確認のため支給が遅れることがあります。

問：健康福祉課 ☎2-3115

「コロナ禍」でも挑戦！

11/27、約1年半ぶりのラボ開催！9人のメンバーが集まって「コロナ禍でもできる活動」をテーマに、企画会議を行いました。挑戦するのは……「YouTube」！みんなでレッツ「動画制作」！

まちの魅力を伝える「PR動画」を作ってみよう！

21世紀の暮らし方研究所 通信



移住者も、阿武町生まれのメンバーも、意見を交わす

馴染み深い奈古浦の路地や、清ヶ浜の海、惣郷鉄橋がきれいに見える場所など、たくさんのアイデアが飛び出す中、こんな意見がありました。

「イラオの湧き水でコーヒーやお茶を飲んでみたい」

福賀地区には、地元を象徴する「イラオ山」があり、その湧き水を汲むことができるスポットがあります。

場所は聞いたことがあるけれど、実際に行ったことがない、というメンバーがほとんど。「それならば、実際に行ってみよう！」ということになりました。

「湧き水を、山頂で沸かして飲んだら面白いよね」

「お茶だったら、奈古の八祥園さんに相談しよう！」

「カップは、橋本窯さんの器がいいかも！」

「いっそ、野外でお茶を点てる『野点』をしようか」

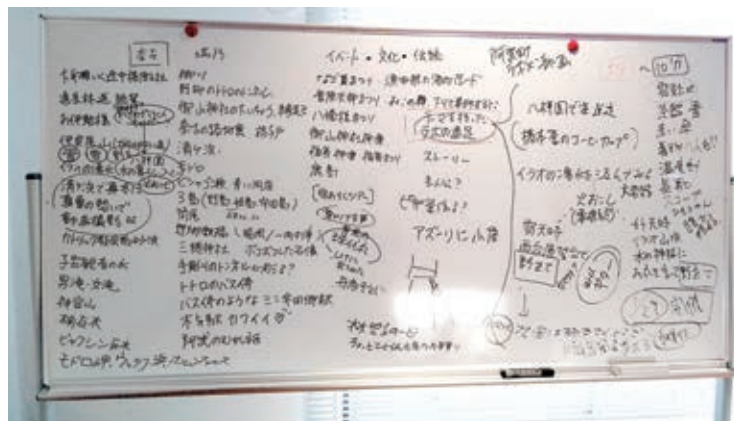
話し合いを通じて多彩なアイデアが生まれました。

今回の活動テーマは「コロナ禍でもできるラボ」。

具体的には、メンバーみんなで阿武町のPR動画を撮影して、「YouTube」に投稿します。

阿武町で暮らし、さまざまな営みをしているラボメンバーならではの視点で、個性豊かな動画が完成するのではないのでしょうか。

この日は、動画の「ネタ会議」として位置付けて、「阿武町のお気に入りの場所」を挙げていきました。



いろんなアイデアが、ホワイトボードにびっしり……！

今回のラボは1月29日(土)。※集合時間などは未定

「大人の遠足・イラオの湧き水でお茶を飲んでみた」

実際に現地を訪れて、動画撮影に挑戦します！

「ネタ会議には参加できなかったけれど、撮影には参加したい！」「遠足に行きたい！」「お茶飲みたい！」という方も、どうぞお気軽にご参加ください。

問：まちづくり推進課 ☎ 2-3111



阿武町農業委員 および 農地利用最適化推進委員 を募集します

阿武町および阿武町農業委員会では「農業委員会等に関する法律」に基づく、阿武町農業委員会の委員と、阿武町農地利用最適化推進委員の任期が来年4月29日に満了することから、新たに委員および推進委員になろうとする人を募集します。(受付後は、阿武町農業委員等候補者評価委員会により候補者選考が行われ、委員は町長が議会同意を得て任命を、推進委員については農業委員会が委嘱を行います。委員は、推進委員と兼ねることができませんが、重複して応募することはできます)

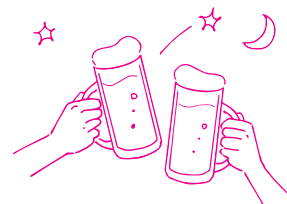
	農業委員	農地利用最適化推進委員
定数	6人	6人
任期	令和4年4月30日から 令和7年4月29日まで	農業委員会からの委嘱(令和4年5月の予定)を受けた日から令和7年4月29日まで

■受付期間：令和3年12月20日(月)～令和4年1月31日(金) 必着

■提出場所：阿武町農業委員会 事務局(阿武町役場 農林水産課) ☎08388-2-3114



気心、真心、諸心



“We make a living by what we get, but we make a life by what we give.” — Winston Churchill

福賀で新たにスタートしたデマンド交通「ふくすけ便」。“きっかけ”のひとつは、ある男性の「俺がやってやろう」という一言でした。《酒屋》であり、《新聞屋》であり、福賀のみなさん行きつけの《飲み屋》でもある「木村商店」店主の木村 厚さん(73・中村)に、仕事の流儀と地域への想いについてインタビューをさせていただきました。

子どもの頃から「負けず嫌い」で、「もっと状況を良くするには、どうしたらいい？」って、いつも考えていますね。

もう73歳ですが、60歳ぐらいに若く見られたい。だからこそ毎日、ストレッチを欠かさずに続けているんです。

学校を卒業してから、大阪で営業の仕事をしていましたが、**自分で商売をしたい**と思って地元に戻り、家の酒屋で仕事をするようになりました。

当時、福賀に酒屋が5軒あったので、弥富の販路を新規開拓して、ほとんど得意先にしました。

営業の経験が生きて、**誰とでも、すぐに会話ができるのが自慢**ですね。「ふくすけ便」でお客を乗せるときにも役立っています。

酒屋の奥は、宴会場として提供しています。料理は参加者の持ち込みで、その代わりお酒はいくらでも出す。

お酒を飲むと、本音が出やすくなるでしょ。コミュニケーションも深まります。**地域にそういう場所が必要だ**と思っているので、そのための場を提供するという考えてやっています。

うちは新聞配達の仕事もしています。もともと福賀にあった新聞屋さんが続けられなくなり、地域の人から「**代わりにやってくれんか**」と頼まれたんです。

最初は断りましたが、運送業をやっていた兄も協力してくれるということと、引き受けることにしたんです。いまでは息子も手伝ってくれ、順調です。

私は以前、病気で、しばらく何もできない時期があったんですが、周りの支えて立ち直ったからは、「**地域の役に立ちたい**」という想いが強くなりました。

年も取ったし、**あとは挑戦するしかない。「もっと良くするため」に考え続けることが大事**ですよ。

自分が「昭和会」の会長になってから、何かやった後には「反省会」を開くようにしているんです。

みなんでお酒を飲んで対話をする。そうしたら新しいアイデアや改善点が出てくるんです。

なかでも、意欲のある**若い世代との対話が大事**ですね。

自分たちの世代とは、感覚や持っている知識が違うんです。そういった違いがあるからこそ、それを吸収して取り入れることができると思うんですよ。

福賀地区は人口が少ないけれど、そのぶん、「**密度**」が高いんです。

いまいる若い子たちのほとんどが神楽や祭りなどの地域活動に関わっていて、これからの中心になっていくであろう人ばかり。

少ないなかでも、**これだけ活動できる人たちがいるというのは、活力にもなるし、福賀の誇り**です。だから私たちができることは100%応援したいですね。

「こうしたら良いな」、という**アイデアを持っている人は大勢**いると思うんです。

「ふくすけ便」にしても、奈古でも宇田郷でも「あればいいな」と思っている人はたくさんいると思いますよ。

ただし、「**誰かがやってくれる**」と思うばかりじゃ始まらない。

旗振りをして、実行する人がいないとできないんですね。

考えを実行に移して「現実」にする過程は、労力は要るけれど大事だと思います。

「ふくすけ便」の場合はいろんなタイミミングが重なって、実現しました。

日頃からの対話のおかげで、「やってやろう」と、一緒に行動に移せる仲間に恵まれたからです。



木村商店
木村 厚さん

Vol.31

《インタビュー動画》を阿武町役場 Web サイトに掲載！



shiBano ニュース

〒759-3622 阿武町奈古 2700-1
open : 火・木・土 10:00 ~ 18:00
tel : 08388-2-3388

阿武町暮らし支援センターは「移住」を考える人たちを応援。すまい・しごとの相談窓口です。



みなさんのご協力
ありがとうございました！

令和3年度

アイデア料理コンテスト

審査結果発表！

令和3年度のアイデア料理コンテストは応募数94人(94品)という多くの方のご参加をいただきまして、本当にありがとうございました。今年度もコロナウイルスの感染拡大防止のため、審査員による試食を行う2次審査は行いませんでしたが、学校栄養教諭の中村仁美先生のご協力により、2次審査に進んだ3つのメニューが11月に給食でメニュー化されて、そのメニューを食べた児童、生徒、先生方による試食審査が行われました。

また、一般の方々のご意見も取り入れるよう、ご家庭で作って食べて投票していただく、公開審査という形の2次審査となりました。



「元気がでるおひさま
ポカポカスープ」



「とうふほうれんそうじる」



「さば缶中華スープ」



学校での
給食の様子です！
みなさん
投票してください！



そして今年度は「1食分で野菜70gがとれる減塩でもおいしい汁物」をテーマにしたアイデアたっぷりのメニューに「アイデア賞」をお送りします。アイデア賞には書類審査で「アイデアポイント」の高かったメニューから、阿武中学校1年生・梅田凛花さんの「野菜くずを使ったコンソメスープ」に決定しました。



審査項目は児童・生徒・先生方は「おいしさ」と「どのくらい食べたいか(頻度)」という2項目について審査。一般審査は「おいしさ」と「アイデア」の2項目について審査しました。投票の結果、給食試食審査と一般審査ともに阿武小学校1年生・井上泰成くんの「とうふほうれんそうじる」が最高点を獲得し、「最優秀賞」になりました。

野菜の皮など
捨てちゃうものを
使っちゃって取る
アイデアたっぷりの
スープです！



アイデア料理コンテストは地域の食材をおいしく食べて、地域を盛り上げ、家庭で食に関する会話が增えること、そして食に興味関心を持つ子どもたちが增えてくれることを目的として毎年実施しています。“食べること”は毎日欠かさず行う当たり前のことになっていますが“命”につながる大切なことです。ただ、おなか満腹になるだけではなく、自分自身の身体をよりよくするために、数十年後の元気で過ごしている自分の未来を思い描いて、“食を楽しむ”阿武町の子どもたちであってほしいと願っています。





ハッピーあぶ町

健康習慣⑨

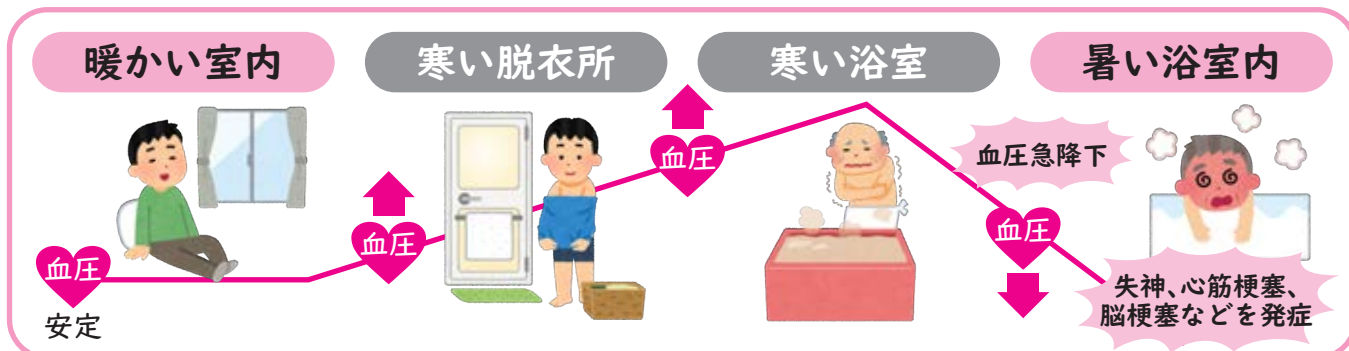
みんなで
実践！

冬場の健康管理

ヒートショック対策をしていますか？

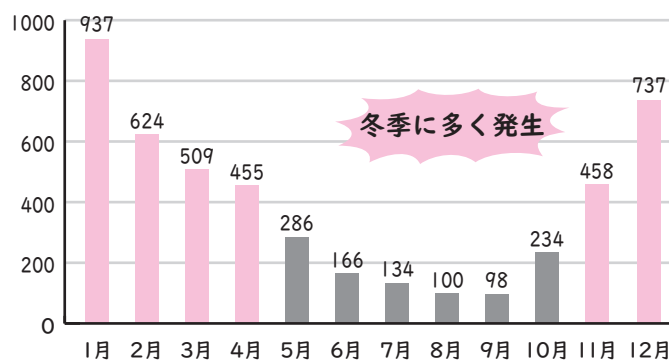
ヒートショックとは？

「ヒートショック」とは暖かい部屋から寒い部屋への移動など温度の急激な変化によって、血圧が大きく変動することで起こる健康被害のことです。失神による溺水や、心筋梗塞や脳梗塞などの血管の病気を引き起こすことがあり、気温の下がる冬場は特に注意が必要です。



高齢者の浴槽内での不慮の溺死および溺水による死亡者数のうち、発生月が分かっているものでは、右のグラフのように1月をピークに11月～4月、特に冬季に多く発生しています。

高齢者の「不慮の溺死および溺水」による発生月別死亡者数
(令和元年)



出典：消費者庁

ヒートショックの危険性が高い方

- 高齢者
- 高血圧の方
- 糖尿病や脂質異常症の方

ヒートショックを防ぐポイント（入浴時）

●入浴前に脱衣所や浴室を暖める

- ・脱衣所に暖房を入れる
- ・浴槽のふたを開けておく
- ・入浴前に浴室全体にシャワーをかける
- ・かけ湯をする（心臓に遠いところから）



●湯温41度以下、

お湯につかるのは10分程度が目安

- ・心臓への負担が少ない
- 半身浴がおすすめ



●浴槽から急に立ち上がらない

- ・手すりや浴槽の縁を使って
- ゆっくり立ち上がるようにする

●食後すぐの入浴や、飲酒後、医薬品服用後の入浴は避ける

- ・夕食前、日没前に入浴がおすすめ

●入浴する前に同居者に一声かける

- ・早期発見のため、家族も
- こまめに様子を見に行くよう心がける

●入浴前後の水分補給を忘れずに

- ・水分補給をして、
- 入浴による脱水症状を予防する



問い合わせ 健康福祉課 ☎2-3113

新型コロナウイルス感染症の影響で 収入が減少し生活に困窮する方へ

緊急小口資金および総合支援資金について、
申請期間が**令和4年3月末日まで延長**となりました。

緊急小口資金

緊急・一時的に
生活費が必要な方

●貸付上限

- ◎子どもの学校休業等・個人事業主等の
特例の場合…20万円以内
- ◎その他の場合…10万円以内

●貸付条件

償還期間2年以内（据置期間1年以内）、
無利子

総合支援資金

生活再建までの間の
生活費が必要な方

●貸付上限

- ◎2人以上…月20万円以内
- ◎単身…月15万円以内
- ※貸付期間は原則3ヶ月以内

●貸付条件

償還期間10年以内（据置期間1年以内）、
無利子

申請および問い合わせ先は **阿武町社会福祉協議会** ☎2-2615

緊急小口資金などの特例貸付について、総合支援資金の再貸付を
終了した世帯や、再貸付について不承認とされた世帯などに対して
「**新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金**」を支給します。

●対象者

緊急小口資金などの特例貸付を利用できない世帯で、次の要件を満たす世帯

●対象要件

【収入】

- ①住民税均等割が非課税となる収入額の1/12、②生活保護の住宅扶助基準額
- ①+②の合計金額以下

【資産】

世帯の預貯金と現金の合計金額が①の6倍以下（ただし100万円以下）

【その他】

ハローワークで求職活動を行う方、または生活保護を申請中の方など

●支給金額

- ◎単身世帯 6万円（月額）
- ◎2人世帯 8万円（月額）
- ◎3人以上世帯 10万円（月額）

●支給期間

申請から3ヶ月間

●申請受付期間および申請先

令和3年7月12日から**令和4年3月31日まで**

山口県萩健康福祉センター 保健福祉・総務室 ☎0838-25-2664



「新型コロナウイルス感染症
生活困窮者自立支援金」特設ウェブサイト



問い合わせ先は **阿武町役場 健康福祉課** ☎2-3115



新型コロナワクチンについてお知らせ

◆新型コロナウイルスワクチン接種 追加接種（3回目）について◆

新型コロナワクチンの感染予防効果や重症化予防効果が時間の経過に伴い、徐々に低下するという報告があることなどを踏まえ、感染拡大防止および重症化予防の観点から実施するものです。阿武町では下記のとおり実施する予定です。※12月13日現在の情報で変更する可能性があります。

〈対象者〉2回目接種を完了した18歳以上の方のうち追加接種を希望する方

〈接種が受けられる期間〉令和3年12月1日～令和4年9月1日の予定（医療従事者から開始）

〈接種間隔〉2回目接種完了から原則8ヶ月以上

〈使用するワクチン〉ファイザー社ワクチンまたは武田/モデルナ社ワクチン

※モデルナ社ワクチンは、追加接種（3回目接種）に向けての薬事承認審査中です

◎追加接種では、1・2回目と異なるワクチンの使用可能です。

◎使用するワクチンの種類は検討中ですが、国からファイザー社ワクチンだけでなく、武田/モデルナ社ワクチンも多く配分されるため、**集団接種等で武田/モデルナ社ワクチンを使用する可能性があります。**

〈接種券の送付〉2回目接種完了から8ヶ月経過するまでに、住民票の住所へ順次郵送予定

例）2回目接種が7月上旬の方・・・2月下旬に接種券が届く → 8ヶ月経過日以降（3月上旬）に接種可

【接種券一体型予診票の見本（ピンク色）】

中央に切れ目がありますが、切り離さないようにお願いします。



《接種券の発行申請が必要な方》

◎阿武町への転入前に1回目・2回目を接種した方

◎2回目接種から8ヶ月以上経過するが接種券が届かない方

◎予診のみで予診票を使用した方、追加接種を希望する方

◎接種券を紛失、滅失、破損した方など

《申請・問い合わせ》阿武町役場 健康福祉課（☎2-3113）

※窓口申請、郵送申請される方は、本人確認書類、1、2回目の接種済証などの写しが必要です。

※厚生労働省 コロナワクチンナビで申請できます。

申請後、郵送します。

コロナワクチンナビ



【現時点での接種体制】

原則として、阿武町内および萩市内の会場で接種を受けていただきます。また、可能な限り1・2回目の接種を受けた会場、医療機関での接種をお願いします。

	町内の接種会場をご希望の方	町外の接種をご希望の方
接種会場	集団接種：町民センター（奈古）・ふれあいセンター（宇田郷） 個別接種：福賀診療所	・萩市内医療機関 ・その他接種会場
予約方法	【1・2回目を阿武町内の接種会場で受けた方】 2回目に接種した会場で日時指定して文書でお知らせします。 【1・2回目を阿武町外の接種会場で受けた方】 阿武町ワクチン接種相談窓口へご連絡ください。 ※3回目の接種を希望されない方や予約日時の変更が必要な方はご連絡ください。	直接医療機関へ電話などでご予約ください。 ※接種券が届いてからご予約ください。
接種開始時期	2回目接種完了から8ヶ月以降をめやすに開始します。※職種や年齢による優先接種はありません ・2回目接種が令和3年6月・・・令和4年2月頃開始予定（主に高齢者） ・2回目接種が令和3年7月・・・令和4年3月頃開始予定（主に基礎疾患のある方など）	

《1・2回目の新型コロナワクチン接種を希望される方へ》

これまで1回目または2回目の接種を受けていない方で接種を希望する方は、健康福祉課までご連絡ください。

【問い合わせ】阿武町役場 健康福祉課 ☎08388-2-3113

正月明けのごみ出しも、必ず朝7時45分までに！

正月明けはごみの量も多く、複数の車両で回収するため、回収経路が変わります。

特に**福賀地区**においても、午前中に回収に伺うこともありますので、これまで同様、回収日の**朝7時45分までに**所定の場所に出してください。



年末に向けての大掃除などで、燃やせるごみを萩・長門清掃工場「はなもゆ」へ直接持ち込まれる場合には、事前に「はなもゆ」へご連絡ください。

問：萩・長門清掃工場「はなもゆ」
☎0838-24-5349

山口県 萩健康福祉センター 1月の行事予定

下記の通り相談会や検査を行っています。
ご相談のある方は、お気軽にお電話ください。

日	曜	時間	行事予定
5	水	13:00～	風しん抗体検査
		13:30～	HTLV-1 抗体検査 C型・B型肝炎ウイルス検査
		14:00～	エイズ即日検査
12	水	13:30～	骨髄ドナー登録会
25	火	13:30～	心の健康相談 (担当：三隅病院 公認心理士)
26	水	13:00～	お酒に関する困りごと相談
27	木	13:30～	暮らしと心身の総合相談会



※ 検査・相談はいずれも事前予約制です。
※ 無料検査の対象には条件がありますのでお問い合わせください。

問：萩健康福祉センター ☎0838-25-2667

冬用タイヤの 早期装着のお願い



これから**本格的な雪のシーズン**を迎えます。
ノーマルタイヤでの雪道の走行は、立ち往生やスリップによる事故や交通障害にもつながる恐れがあります。

ドライバーのみなさまには、「**冬用タイヤの装着**」や「**チェーン携行**」など、早めの準備をお願いいたします。

問：山口国道維持出張所 萩分室
☎0838-22-2530

公的個人認証サービスの 電子証明書の発行を受けている方へ

公的個人認証サービスの電子証明書の有効期限は**個人番号カードの発行から5回目の誕生日です**。

失効した場合には、国税の電子申告などの電子申請や届け出に使用できなくなります。

更新・再申請をご希望の方は、
戸籍税務課または各支所の窓口で手続きをしてください。



※個人番号カードの署名用電子証明書は、住所や氏名などに変更があった場合、有効期限前でも失効しますのでご注意ください。

※住民基本台帳カードをお持ちの方は、電子証明書は失効した状態になっていますので、必要な方は個人番号カードの申請をお願いします。
(申請から発行まで約1ヶ月かかります)

問：戸籍税務課 ☎2-0500

国民年金第1号被保険者で平成31年2月1日以降に出産された方へ

現在、保険料免除制度を利用されている方も手続きしてください！

産前産後期間の国民年金保険料が免除されます！

産前産後期間の国民年金保険料免除制度は、次世代育成支援の観点から国民年金第1号被保険者*が出産をされた際、産前産後の国民年金保険料が一定期間免除される制度です。早めの届出をお勧めします。

※ 20歳以上60歳未満の自営業者・農林漁業者とその家族、学生、無職の人



免除制度の内容

■ 産前産後期間の免除制度は、「保険料免除された期間」も保険料を納付したものととして老齢基礎年金の受給額に反映されます。

国民年金の保険料免除は全額免除の場合、将来の給付額は全額納付時と比べ2分の1となります。

この制度は、国民年金保険料を月額100円程度引き上げることにより、国民年金の被保険者全体によって支えられています。

■ 産前産後期間は付加保険料が納付できます。

■ 産前産後期間の保険料を前納している場合、全額還付(返金)されます。

届出しないと免除になりません

■ 出産予定日の6ヶ月前から届出ができ、手続きには書類が必要です。

■ 平成31年2月1日以降の出産であれば、出産後の届出はいつでも可能です。

■ 届出先は、阿武町役場 戸籍税務課となります。(郵送でも手続きできます)

保険料納付が免除される期間

■ 出産予定日または、出産日が属する月の前月から4ヶ月間の国民年金保険料が免除されます。

多胎妊娠(2人以上の赤ちゃんを同時に妊娠)の場合は、出産予定日または出産日が属する月の3ヶ月前から最大6ヶ月間の国民年金保険料が免除されます。

* 出産とは、妊娠85日(4ヶ月)以上の出産をいいます。(死産、流産、早産された方を含みます)

■ 免除対象期間 [色の付いた部分が免除期間]

	3ヶ月前	2ヶ月前	1ヶ月前	1ヶ月後	2ヶ月後	3ヶ月後
単胎の方				出産予定日*		
多胎の方				出産予定日*		

※届出が出産後の場合「出産日」

届出方法

■ 次のものをお持ちになり、阿武町役場 戸籍税務課または萩年金事務所でお手続きください。

- ・個人番号または基礎年金番号の確認ができるもの
- ・本人確認書類
- ・母子健康手帳など出産(予定)日を明らかにすることができる書類





休日当番医

12/26㊤	萩市休日急患診療センター	椿	0838-26-1397
12/30㊤	福賀診療所	福賀	08388-5-0863
12/31㊤	萩市休日急患診療センター	椿	0838-26-1397
1/1㊤	弥富診療センター	弥富	08387-8-2311
1/2㊤	須佐診療センター	須佐	08387-6-2540
1/3㊤	齋藤医院	奈古	08388-2-2838
1/9㊤	萩市休日急患診療センター	椿	0838-26-1397
1/10㊤	萩市休日急患診療センター	椿	0838-26-1397
1/16㊤	福賀診療所	福賀	08388-5-0863
1/23㊤	萩市休日急患診療センター	椿	0838-26-1397
1/30㊤	弥富診療センター	弥富	08387-8-2311

診療時間 休日当番医：午後5時半まで
萩市休日急患診療センター：午後10時まで
受付はいずれも30分前まで

緊急の場合は119番

萩・阿武健康ダイヤル24

24時間年中無休で健康や医療に関する相談を受け付けています。

☎0120-506-322 (通話料・相談料無料)

年末年始《12月30日(木)～令和4年1月3日(月)》

発熱や咳・嘔吐・下痢で医療機関を受診される方へ

萩市休日急患診療センターでは、年末年始に感染症の拡大を防止するために**発熱患者専用の診療時間(12:00～16:00)**を設けます。

発熱・咳・嘔吐・下痢などのある方は、**来院前に下記専用ダイヤルにお電話**ください。**指定された時間**にご来院いただき、原則、**車内で診療**を行います。

感染症拡大防止のため、できる限り公共交通機関の利用を避け、**自家用車で来院**してください。

■**発熱患者診療受付時間**：11:30～15:30

■**発熱者相談ダイヤル**：☎090-3636-0737 (9:00～21:00)

※通話中の場合は、こちらから折り返しご連絡いたします。

問：萩市休日急患診療センター ☎0838-26-1397

受診や症状などに関する電話相談はこちら

◎受診・相談センター ☎083-902-2510

◎萩・阿武健康ダイヤル24 ☎0120-506-322

集中PCR検査の実施

県では年末年始やインフルエンザ流行期における感染拡大を防止するため無症状の方を対象とした集中PCR検査を継続して実施します。

■**受付期間**：令和3年12月20日(月)～令和4年2月28日(月)

■**対象者**：◎県内に住所を有し、感染に関して不安を覚える無症状者
◎県外への行動歴や県外からの方などとの接触有無を問わない

■**検査方法**：だ液を自分で採取し、県が委託した業者へ郵送で提出
※検査をする方のみお申し込みいただき、必ずご提出ください。

■**検査料金**：無料(行政検査)

■**結果報告**：電話連絡のみ(陰性証明の発行は行いません)

※陽性の場合、保健所による再検査を実施します。

※**年末年始にご希望の方は、できるだけ12月27日(月)までにお申し込みください。**

■**検査受付**：

①**役場健康福祉課** ☎2-3113
(平日9:00～17:00)

②**山口県受付窓口** ☎083-902-2510
(月～土10:00～17:00・年末年始含む)

※12月30日(木)～1月3日(月)のみ
萩市・阿武町受診相談窓口も可
☎090-3636-0768 (9:00～15:00)

俳句

里の秋	唄えば父や母の事	佐々岡 美保子(中村)
稔るほど鈴の音する大豆畑		原 清穂(宇生賀中央)
小春日を浴びし老婆の顔の艶		柳井 恵子(宇田中央)
着ぶくれて皆既月食見にゆかん		林 弘子(浜の一)
紅葉狩色とりどりに化粧して		小田 衛(宇久)
紅葉山誰も詩人となりしかな		大倉 淑子(宇生賀中央)
あわき期待潰えよろよろ冬に入る		梅地 眞代(東方)
切り株の力噴き出す冬木の芽		池田 幸枝(大里)
秋夕焼向かう子の背が伸びたよう		木村 信恵(久瀬原)
一服の抹茶両手に着ぶくれて		出羽 法泉子(浜の一)
木屋や見えねどもそこは夜の帳り		水津 紅魚(東方)
小春日や藤井四冠宇部に生る		能野 泰枝(釜屋)
着服れの袖をめくりて皿洗う		小野 あけ美(寺東)
小春日に荒ぶり揺れる一葉かな		河原 一博(上郷)
ひとすじに高き天分く飛行雲		白上 浩美(岡田橋)
すすき野に子供の自分見たような		桂 結佳(東方)

阿武町俳句協会 次回例会のご案内

とき 令和3年12月20日(月) 午前9時半より
ところ 町民センター 投句内容 当季雑詠4句

阿武町の人口と世帯数 (11月末)

地区別	人 口	世帯数	移動内訳
奈 古	2,114(－6)	1,008(－1)	転入 6
福 賀	510(－1)	265(0)	転出 3
宇田郷	498(4)	268(1)	出生 1
合 計	3,122(－3)	1,541(0)	死亡 7

※ () 内数字は対前月比

11月の交通事故

区 分	人 身 事 故			物損 事故
	件数	死者	負傷者	
萩警察署管内で 起こった事故	0 (2)	0 (1)	0 (1)	83 (88)
うち阿武町内で 起こった事故	0 (1)	0 (0)	0 (1)	3 (2)

() 内数字は前年件数

みんなでつくろう明日のページ

1月

日 曜	行 事 予 定
2 日	成人式【町民センター】
4 火	保育始め
5 水	奈古ストレッチ学習会 9:30【町民センター】
8 土	福賀月例グラウンドゴルフ大会 13:30【福賀グラウンドゴルフ場】
10 月	消費生活相談日 8:30【役場1階 相談室】
11 火	身体測定 11:00【みどり保育園】 はたらクラス 19:00【阿武町暮らし支援センターshiBano】
12 水	阿武町民生委員児童委員協議会定例会 8:30【役場2階 大会議室】
13 木	宇田郷地区のびのびストレッチ楽集会 9:30【ふれあいセンター】
14 金	誕生会 11:00【みどり保育園】 ママの会教育講演会 13:30【阿武町民センター】
15 土	お餅つき大会 9:00【みどり保育園】
16 日	奈古グラウンドゴルフ 9:00【阿武小・中学校グラウンド】
17 月	健康教室「さくら会」9:00【町民センター】 心配ごと相談 9:00【町民センター】
18 火	阿武中3年生と園児の交流会【みどり保育園】
19 水	選挙管理委員会 9:00【役場2階 小会議室】 奈古ストレッチ学習会 9:30【町民センター】
20 木	ひよこクラブ 9:45【ほっとハウスみどり】
21 金	阿武小保健給食委員会と園児の交流 13:00【みどり保育園】
24 月	消費生活相談日 8:30【役場1階 相談室】
27 木	選挙管理委員会 9:00【役場2階 小会議室】 宇田郷地区のびのびストレッチ楽集会 9:30【ふれあいセンター】 ひよこクラブ 9:45【ほっとハウスみどり】
28 金	避難訓練・交通安全指導 11:00【みどり保育園】
29 土	21世紀の暮らし方研究所【町内】 ママの会学習会「食育」10:00【みどり保育園】
30 日	鳴き砂復活清掃活動 9:00【清ヶ浜】

阿武町で エコ一句

みなさんから投句のあった「エコ一句」
今月ご紹介する優秀作品は……

エコの道 明るい未来 めざす町

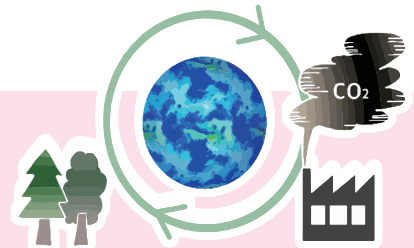
かなざき ひろし

金崎 洋さん(尾無畑)

国民一人ひとりの衣食住や移動といったライフスタイルに起因する温室効果ガスが、我が国全体の排出量の約6割を占めるという分析もあります。

国や自治体、事業者だけの問題ではなく、あらゆる主体が取り組む必要があります。

将来の世代も安心して暮らせる「持続可能な経済社会」をつくるため、今から「カーボンニュートラル(脱炭素社会)」の実現に向けて、取り組む必要があります。



12月分 町内の求人情報 12月13日現在(すでに決定済みとなっている場合があります。その際にはご了承ください。)

●問い合わせ ハローワーク萩・萩公共職業安定所 ☎0838-22-0714

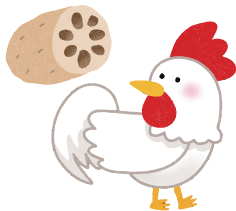
会 社 名	業 種	賃 金	会 社 名	業 種	賃 金
鶴惣工業	技術職(福賀工場)	160,000円～	吉岡土建	土木作業員	210,000円～
	技術職(惣郷工場)	160,000円～	鹿野ファーム	養豚飼育管理員 (阿武農場)	170,000円～
阿武福祉会	介護職員(いらお苑)	144,000円	ホーコーインテム	(派)製品の製作	184,800円
	看護職員(いらお苑)	176,000円～	ウォンツ阿武店	販売(接客・レジ業務)	155,400円～
	調理員	144,000円		販売(接客・レジ業務)	時給900円～
ナベル 山口工場	品質管理	165,900円～		キャンプ場運営スタッフ	時給950円
	各種蛇腹製造工	146,856円	道の駅阿武町 (あぶクリエイション)	鮮魚加工業務(あぶの旬館)	時給860円
阿武建設	土木作業員 (監督見習い)	187,920円～		惣菜加工業務(あぶの旬館)	時給860円
小田建設	土木作業員	172,800円～	外海第二栽培漁業 センター	魚貝類などの 種苗生産	時給859円
	土木施工管理技士	250,000円～	阿武福祉会	介護職員 (いらお苑・夜勤専属)	時給900円

ヘルスメイト☆おすすめ料理



すえます ふみえ
末舛 富美枝 さん（森見藤）

「野菜たっぷりおすすめレシピ！」より 鶏ひきバーグの根菜添え



【材料 4人分】

鶏ひき肉	400g	油	大さじ 1/2
タマネギ	100g	カイワレ	適量
卵	1コ	だし汁	1/2 カップ
酒	大さじ 1/2	酒	大さじ 1
ショウガ汁	少々	みりん	大さじ 1
片栗粉	小さじ 2	しょうゆ	大さじ 1
油	大さじ 1	砂糖	小さじ 1
レンコン	70g	片栗粉	大さじ 1
ゴボウ	70g		
ニンジン	50g		

【作り方】

- ① 玉ねぎはみじん切りにして、鶏ひき肉とAを合わせて粘りが出るまで混ぜ、4等分にして丸く形を整える。
- ② 根菜類は薄切りにして、さっと茹でてザルに上げて水気をきり、フライパンに油大さじ 1/2 を入れてから炒めて取り出しておく。
- ③ フライパンに油大さじ 1 を足して、①の両面をこんがり焼き、Bを合わせて回しかけて照りを出す。
- ④ お皿に②・③と、さっと茹でたカイワレを盛り合わせて、③の焼き汁をかけて、できあがり。

あぶフォト倶楽部

作品は道の駅温泉棟 1 階に展示中

会員作品紹介



しみず のりあき
「秋がそこに」 清水 教昭（宇田浦）

●宇田八幡宮の新嘗祭前に、本殿・境内の清掃と落葉拾いがあり、早朝に訪れました。静かな佇まいのなかに秋の訪れを知らせる木々と落葉の、絵姿がありました。来年の「天佑神助」を願いつつ、写真を撮りました。

私の一品



おの ひろまさ
「光る道」 小野 宏修（土）

●朝日に輝く道を、車椅子を杖に散歩する老人。ゆっくりと歩く後ろ姿を、浜風が、やさしく包む。萩市の越ヶ浜で撮影。

◆あぶフォト倶楽部

次の例会（第164回）は12月20日（月）19時から開催（町民センター）

◆事務局 ☎ 2,3111

点描



しみず のりあき
「宇田郷も白景色」 清水 教昭（宇田浦）

- 令和3年1月8日の夜明け前から、新春を知らせる冷え込みが一段と進み、真っ白な雪が降り始めました。時間を待たずして、宇田郷の景色が白と黒の墨絵のように、「あっ」という間に変わりました。人力を通してはできない、この季節の変化は神秘的でした。

※ 2 枚の写真をつなぎあわせたパノラマ写真です